

ふれあいゆる かつま

ふらす コミュニティ情報

平成 24 年 3 月 15 日号 (第 16 号)

勝間コミュニティ推進協議会発行

パソコンでご覧になるには・・・『周南市コミュニティ推進協議会』ホームページ

(<http://gokan-furusato.org/community/community.html>)

どうぞ今年も無病息災で！

大どんど焼き



1 月 7 日 (土) に勝間小学校にて大どんど焼きが開催されました。



天気も良く、たくさんの方々に来ていただきました



もちつき



こま回し



たこあげ



焼いも (ホイル焼き)



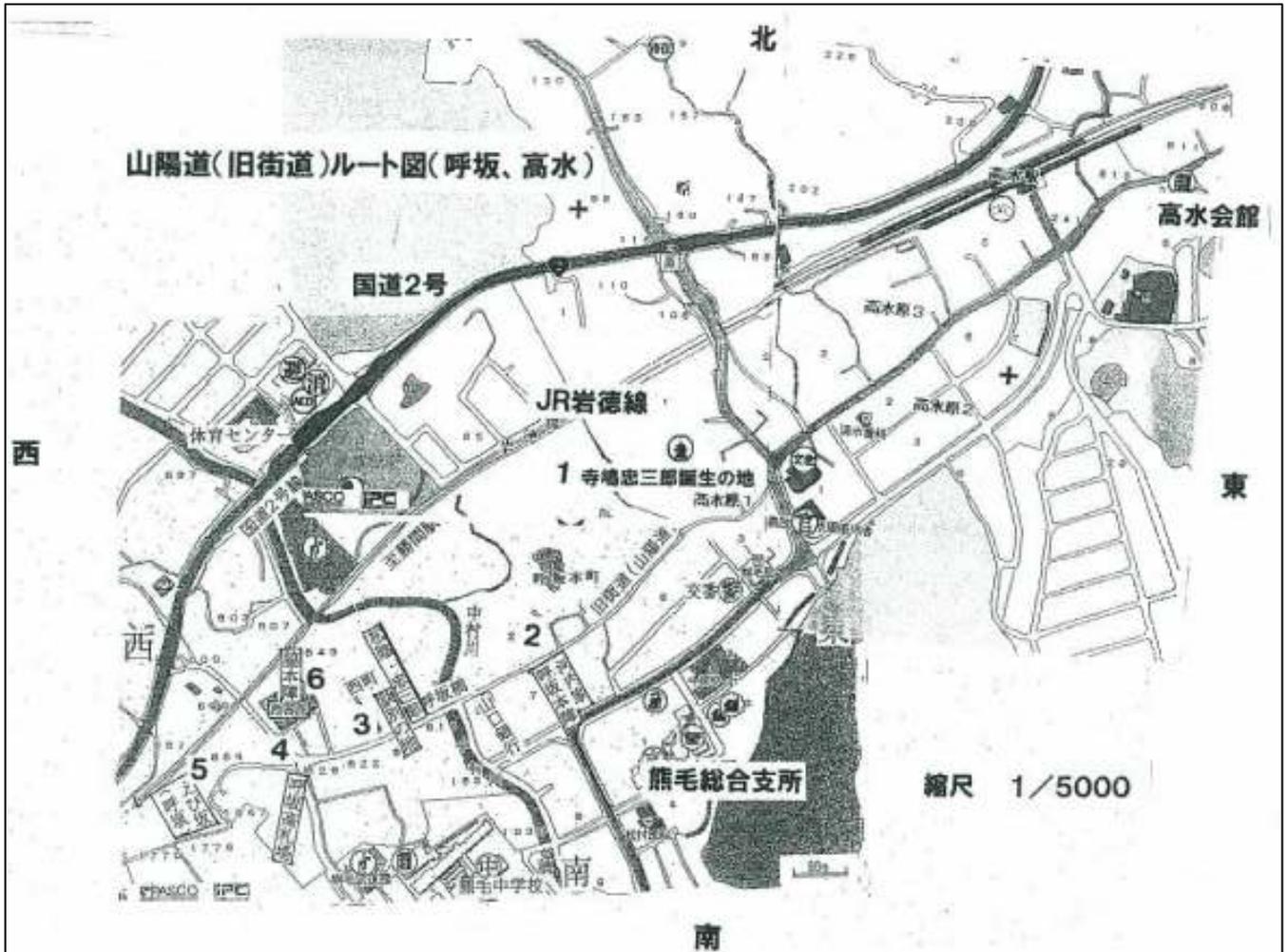
このマークが付いている記事のスナップ写真アルバムが「勝間ふれあいセンター」に置いてあります。ご希望の写真は差し上げます。ぜひご覧ください。

ご寄稿（高水会館 木谷館長より）

熊毛地域の歴史メモ④

江戸時代、山陽道(街道)は西国街道とも呼ばれ京都から下関までの間に 50 あまりの宿駅がありました。当時、呼坂の町は山陽道の宿駅として盛況でした。

その町の中心部をご案内します。



中村川にかかっているのが呼坂橋ですが、その橋から東側が現在の本町、西側が西町です。図の東側から史跡などをご案内します。

1. 寺嶋忠三郎誕生の地

- 1843年 高水村原 近習 寺嶋多三郎の次男として誕生した。
- 1858年 松下村塾に入り松陰門下生となる。
- 1864年 久坂玄瑞とともに京都御所 蛤 御門の変で没す。
- 1891年 朝廷から勤皇報国の忠節を追賞され正四位を賜る。

☆近習・・・主君のそば近くで仕える者

2. **呼坂本陣跡**

江戸時代、河内家は代々庄屋を務め天明年間（1781～1788年）、七左衛門の代から本陣を引き受け参勤交代の大名や幕府の上使が^{じょうし}宿泊や休息をしました。お休み札、^{よろず}宿泊の部屋、萬日記、屋敷見取り図などが保存されています。

3. **吉田松陰・寺嶋忠三郎訣別の地**

吉田松陰は1859年10月安政の大獄により江戸の伝馬町に送られ斬刑に処されましたが、1859年5月25日に吉田松陰の護送の列は萩の野山獄を出発、6月3日に**呼坂の地**を通過しました。この時帰省していた門下生の寺嶋忠三郎と最後の別れをしました。

4. **呼坂高札場**

幕府、諸藩は民衆に周知するため、往来の激しい地点や町の中心部に高札場を設置しました。

5. **呼坂という地名**

大日本地名辞書によると町の姿が「えび」に似ているので「**えび坂**」と呼ばれていました。

6. **脇本陣西善寺**

脇本陣は宿場に確保され本陣の予備的な役割を担いました。本陣だけでは泊まりきれない場合や、藩同士が鉢合わせになった場合に利用されました。

木谷館長さん、どうもありがとうございました。

『花いっぱい運動』 県の優良賞受賞！

熊毛婦人会の皆さまが管理されている消防署前の『ツルの里ふれあい花壇』が、県の花いっぱい運動において優良賞を受賞されました。

おめでとうございます！

なお、同花壇は、周南市の花壇コンクールにおいて、3年連続で優秀賞を受賞されています。

（平成23年11月1日号に関連記事あり）

お知らせ

昔の遊び交流会

2月9日(木)に勝間小学校において、1年生の児童とのふれあい行事『昔の遊び交流会』が行われました。寒風吹きすさむあいにくの天候の中での開催でしたが、竹馬や羽根つき等の慣れない遊びに悪戦苦闘しながらも、会場には笑い声が響き渡っていました。

ご協力いただいた地域の皆様ありがとうございました。



あやとりでの一コマ



終わった後はみんなで焼き芋を食べました！

勝間ふれあいセンターからのお知らせ

勝間ふれあいセンター学習室に新刊図書が入りました！

書名	著者名
下町ロケット	池井戸 潤
心を整える	長谷部 誠
超訳ニーチェの言葉	フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェ 白取 春彦
道化師の蝶	円城 塔
共喰い	田中 慎弥
謎解きはディナーのあとで 1・2	東川 篤哉
死ぬまで寝たきりにならない体をつくる	宮田 重樹
徒然草 REMIX	酒井 順子
東日本大震災写真家 17 人の視点	アサヒカメラ特別編集
船越英一郎の京都案内	船越 英一郎



是非読みに来て下さい！